

北里大学病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	右室 modified Stroke work index による右室流出路閉塞性疾患の予後予測
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部小児科学 助教 本田 崇
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	ファロー四徴症や兩大血管右室起始症などの、右室の流出路の狭窄をきたす疾患では、心内修復術の後に、右室の流出路の狭窄もしくは逆流が問題となり、多くの場合に再手術が必要となります。本研究では、Stroke work index (圧較差と心室拍出量の積) という心室の仕事量を表す新しい指標が、その再手術の必要性および時期を推定する上で有用か否かを評価することを目的とします。
調査データ 該当期間	1990年1月1日から2023年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に右室流出路狭窄を伴うファロー四徴症もしくは兩大血管右室起始症に対して、北里大宅病院心臓血管外科で心内修復術を施行した患者さま。また、比較対象とする正常群を設定するため、心室中隔欠損症などの先天性心疾患の術後に心臓カテーテル検査を行い、正常な血行動態であった患者さまも対象とさせていただきます。
研究の方法 (使用する試料等)	1990年1月1日から2020年12月31日までの間に右室流出路閉塞性疾患に対して北里大学病院心臓血管外科で手術を受けられた患者さまの、上記該当期間の診療記録、検査データを利用します。
情報の他の研究機関への提供/提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。情報は二次利用される可能性があります。その際は改めて研究倫理審査を受けてから行われること、また二次利用のみを拒否することもできます。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。</p>

ますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:小児科・診療講師

担当者: 本田 崇(ホンダ タカシ)

電 話:042-778-8111

備 考